

## 平成18年度 第36回九州中学校バスケットボール競技大会 記録速報

日 時	平成18年8月6日(日) 14時50分開始		
会場名/コート	佐賀県立総合体育館 Aコート 第五試合		
試合項目	男子 2回戦		
Aチーム 城東中学校 (大分県)	45	$\left\{ \begin{array}{l} 6 - 20 \\ 19 - 8 \\ 16 - 15 \\ 4 - 17 \\ - \end{array} \right.$	60
			Bチーム 北谷中学校 (沖縄県)

第1ピリオド開始から、城東はオールコートのマンツーマン、北谷はハーフコートのマンツーマンディフェンスで試合が始まった。開始後15秒で北谷#5の3Pシュートが決まると、城東#4も3Pシュートをねらうが、これに対してファールをされる。#4は3本のフリースローを落ち着いて決め、互角の立ち上がりを見せた。しかし、北谷は#6や#5のリバウンドからのシュートや速攻が決まりだし、点差を広げ3-14とする。これに対し城東は残り2分32秒#4から#5へのアシストパスが通り、追いつこうと必死に食い下がるが、北谷#6の連続ポイントなどで6-20で第1ピリオドを終了した。

第2ピリオドに入ると、城東#5#7のリバウンドからのシュートに対してファールをもらい、フリースローも決めて、徐々に点差を詰めてくる。残り5分35秒には#4の3Pシュートも決まり、10点差に追い上げる。しかし、北谷も#6の連続ポイントで引き離しにかかる。第2ピリオド後半より城東中のプレスディフェンスがきき始め、#4や#12の3Pも決まり、25-28まで追い上げて前半を終了した。

第3ピリオド出だし、両チームとも厳しくマンツーマンディフェンスを頑張り、得点が伸びず一進一退の攻防が続く。残り2分、城東#5がゴール下で得点し36-37と1点差に詰めるが、城東#12が怪我でベンチに下がる。ガードのいない城東は攻め手を欠き苦しむ。対する北谷は#6がゴール下で得点し、徐々に点差が開く。39-43の残り13秒、あせる城東#4がオフェンスチャージングをおかす。さらに点差を広げたい北谷ベンチはタイムアウトを請求。得点をねらいにくるが、3秒を残しターンオーバーをおかす。このチャンスに城東はエンドからのタッチダウンパスが決まり2点差で最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド城東は2-3のゾーンディフェンスを試みるが、北谷は#5が落ち着いてゲームをコントロールし#9#6がリバウンドに速攻に活躍し、徐々に点差が開く。残り5分、43-51となり城東ベンチがタイムアウトを請求し、#12のガードを戻した。プレスディフェンスで追いかける城東だが、最後まで運動量の落ちなかった北谷が45-60とリードを広げ試合を終了した。

Aチーム 大分市立城東中学校(大分県)							
No	選手名	Pl-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	佐藤 康之郎	(x)	3	2	4	17	2
5	堤 敏記	(x)		3	2	8	2
6	永見 純輝					0	
7	佐藤 克介	(x)		5	3	13	4
8	荒木 章吾					0	
9	菅 雅敏					0	
10	武津 祐太郎	x				0	
11	利光 孝太					0	
12	財前 翔平	(x)	1	2		7	4
13	紀 亮輔					0	
14	栗林 誠一	(x)				0	1
15	山城 秀樹	x				0	
16	平井 麗斗					0	
17	幸 聖也					0	
18	宇野 仁					0	

Bチーム 北谷町立北谷中学校(沖縄県)							
No	選手名	Pl-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	菅原 昭厚	x				0	
5	津山 裕大	(x)	1	3		9	1
6	キャンター・翔	(x)		14	1	29	3
7	宮里 航貴	(x)	1	2		7	1
8	平敷 慶喜	(x)		1		2	5
9	津嘉山 朝輝	(x)		6		12	2
10	宇栄原 宗平					0	
11	山城 和義	x				0	
12	嘉手川 知也	x				0	
13	砂川 尚之					0	
14	津山 賢大	x			1	1	2
15	高宮城 大樹					0	
16	坂本 哲					0	
17	永嶋 一帆					0	
18	伝道 祐之					0	